



環日本海・東アジア諸国図／通称「逆さ地図」
富山県が国土地理院の承認を得て作成した
地図です。(平24情使第238号)「逆さ地図」
に航路、航空路が重ねてあります。

Toyama New Industry Organization

アジア経済交流センター

アジアをはじめ世界に羽ばたく企業を支援

..... 航空路
- - - - 航路
※2021年1月時点
※新型コロナウイルス感染症等の影響により、運休している可能性があります。

9. アジア経済交流の推進

アジア地域の経済・貿易情報の収集・提供等

アジア地域における貿易・投資等の経済活動を促進するため、当該地域の情報を収集し、刊行物やウェブサイト等を通じて提供します。

<https://www.near21.jp/>



ホームページでも公開

10. 富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

富山県海外販路開拓サポートデスクの設置

海外ビジネスに関する実務経験が豊富なアドバイザーを配置し、「富山県海外ビジネスサポートデスク」と連携を取りながら、アジア地域を中心とする海外販路開拓や海外進出に挑む県内企業の皆様にバックアップします。

富山県海外ビジネスサポートデスク	
○富山県バンコクビジネスサポートデスク(北陸銀行バンコク駐在員事務所)	23rd Floor Unit 2314, Bhira Tower at EmQuatier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-8495
○富山県台北ビジネスサポートデスク(ジェック経営コンサルタント台北事務所)	台北市信義区信義路五段5號4樓4B14室 TEL:+886-2-2725-5918

11. 貿易・投資コンサルティング

アドバイザーによるコンサルティングやセミナー、「中国研究会」の開催



アジア地域・貿易等に関する専門知識や実務経験が豊富なアドバイザーが、貿易や海外進出などについてのご相談に応じ、アドバイスします(事前予約制・無料)。

貿易投資 アドバイザー	中国	藤野 文悟
	東南アジア	鎌田 慶昭
	ロシア	森岡 裕
	東南アジア	宮本 敏和
	中国	稲田 堅太郎

● セミナー

県内企業向けに、海外展開に役立つセミナーを開催しています。要請に応じ、セミナー講師の派遣も実施します。

● 中国研究会

中国への理解を深め、中国に関心のある県内企業の情報交換の場とすることを目的とした勉強会「中国研究会」を定期的に開催しています。

12. 海外市場開拓の支援

■ 販路開拓の挑戦支援 (とやま中小企業チャレンジファンド事業)

県内中小企業者の販路開拓を支援するため、海外で開催される展示会への出展、現地での市場調査等に対し助成します。



国外市場開拓	
助成率	1/3
限度額	50万円
助成期間	最長2箇年度

■ 国際見本市への出展支援

海外の見本市への出展支援事業を行い、県内中小企業の海外販路開拓をサポートします。

○2021年度予定

2021中日(大連)博覧会	開催地：中国大連市 期間：2021年9月(予定)
---------------	-----------------------------

■ 海外バイヤー招へい商談会の開催

海外からバイヤーを招へいし、県内中小企業の商品・技術を広くアピールします。

○2021年度予定

海外バイヤー招へい商談会
富山県及び岐阜県、長野県が連携して、海外からバイヤーを招へいした商談会を開催

■ 経済交流ミッションの派遣

主にアジア地域の投資環境や経済・物流の動向を探るためミッション団を派遣します。現地では政府機関や企業を訪問し、双方のビジネスチャンス拡大に向け、率直な意見交換を行います。



13. 富山県ものづくり総合見本市の開催

国内外のものづくり技術や製品を幅広く展示し、経済・ビジネス交流の拡大を図るため、「T-Messe 2021 富山県ものづくり総合見本市」を開催します。今回は、従来形式の「リアル会場」に「バーチャル会場」を加えたハイブリット形式で開催します。

会期	2021年10月28日(木)～10月30日(土) (バーチャル出展期間は10月28日(木)～11月30日(火))
会場	富山産業展示館(テクノホール)
主催	富山県ものづくり総合見本市実行委員会
参加国・地域	中国、台湾、東南アジア 等(予定)
対象分野	工作・産業機械、自動車関連、精密機械、電子・電機、 鋳造・金型、金属加工品、プラスチック、アルミ、 IT、化学、医薬品、伝統工芸、食品加工、繊維、デザイン産業 等

CASE

3

株式会社海津屋 海津 憲太郎 社長

▶ P.10 ● 販路開拓挑戦応援事業(国外)

● 海外バイヤー招へい商談会

「氷見うどんを海外へ」の夢をかなえて アジアの国々へ。そしてフランスへ

同社が海外の市場をうかがい始めたのは平成22年のこと。金融機関の誘いを受けてシンガポールでの商談会に参加した際には、海津社長はうどんの認知度が高まってきていることを実感したようだ。そして翌年以降も参加。平成26年、28年には海外展開を加速させようと「販路開拓挑戦応援事業(国外)」の支援を受けて、タイ、台湾、香港での商談会・試食会へ。26年にはタイのスーパーでの販路が開かれ、28年にはバンコクのホテルのレストランでの採用が決まった。

また同社は、当機構の「海外バイヤー招へい商談会」には平成29年から参加。毎年、数社のバイヤーと商談してきたところ、フランスのバイヤーと話がまとまり、昨年までに数度出荷。フランスの本社を訪ね、どのように利用されているかを確かめたかったそうだが、コロナ禍により延期になった。海津社長は「コロナ禍の終息を待って渡仏したい。将来は、イタリアやドイツ、イギリスへの輸出も目指す」と意気軒昂であった。



◀ 令和元年に行われた海外バイヤー招へい商談会の様子(会場：ポルファートとやま)。同社は3回目の参加でフランスの企業との取り引きが始まった。

▼ 「氷見うどん」の海外展開を試み始めて、今年で10年目に入る海津憲太郎社長。



▲ 平成26年8月、富山県の支援を受けて出展した「Food Expo2014香港」での同社ブースの様子。

